

経済学研究科

経済学専攻

経営学専攻

1. 経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

経済学・経営学に関する深い学識を基礎に、実際の応用能力を有する職業専門家、深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。

前期課程修了者には、専門知識を活かして、研究やコンサルティングに従事したり、企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。

後期課程修了者には、学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経済を、理論的、実証的、歴史的に分析する力
2. 現代社会が直面する事象や問題について経済学の知識を活用し論理的に思考する力
3. データ処理・分析を通じてデータに潜む情報を表現する力
4. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文として完成させる力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 自ら選んだ専攻分野で専門家としての能力を深め、高める能力
2. 学術性の高い研究課題を設定し、経済学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
3. 自立した研究者として独自の研究を遂行し、研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力
4. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文として完成させ、発信する力

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 経営学、マーケティング論、会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された少なくとも一つの専門分野を深く理解する力
2. 本学の精神に基づき、世界の人々の生活向上や世界の企業のさらなる繁栄に寄与する独創的、先進的研究を行う力
3. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文として完成させる力

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけた者と認め、学位を授与します。

1. 学術性の高い研究課題を設定し、経営学、マーケティング論、会計学の適切な枠組みを用いて考察・分析を行う力
2. 自立した研究者として独自の研究を遂行し、研究で得た知見や洞察を用いて世界や社会の発展に貢献する力
3. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文として完成させ、発信する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

経済学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、1年次のコースワークで経済学の理論や分析手法を修得し、2年次では指導・審査グループの助言のもとでテーマを設定し学位論文を作成するよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 1年次コースワークでは、基礎科目である「マイクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」「計量経済学特講Ⅰ」および、「論文演習Ⅰ（基礎）」を必修科目とし、選択科目では各自の研究関心に応じて応用経済学の科目を開設する。
2. 「マイクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」では、経済学の理論や分析手法を学び、「計量経済学特講Ⅰ」では、数量的分析手法を修得する。また、「論文演習Ⅰ（基礎）」や「選択科目」では、最新の研究動向を参考にしながら、現代社会が直面する事象や課題をどのような経済学的視点から分析できるのかを学ばせる。
3. 2年次では、論文テーマの設定や考察・分析枠組みの選択等について、指導教員を中心とした3人の教員から構成される審査・指導グループにより学位論文作成を指導する。
4. 学位論文審査では、研究課題を経済学の適切な枠組みにより分析し、学術的な位置づけを明確にしながら論理的に記述できているかを問う。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、コースワークで経済学の高度な理論や分析手法を修得し、「研究指導」により博士論文作成の指導を受け、学内セミナーでの研究報告により学位論文の完成度を高めるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 「研究指導」を必修科目とし、博士論文のテーマ設定や分析手法の選択等について指導を行う。
2. コースワークとして理論経済学、応用経済学、経済統計の分野の科目を選択必修科目として開講する。
3. 学内セミナーで研究報告し、指導教員をはじめ他の教員からも助言を受け、論文の完成度を高める。
4. 研究成果の一部が査読付き専門雑誌へ掲載されるように指導を行う。
5. 学位論文審査では、独自の学術的価値を有するか、自立した研究者として研究遂行能力があるか等を問う。

経営学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、本学の精神を基礎として個々人の能力に沿い、個性を活かした成長を目指すよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 経営学、マーケティング論、会計学の各分野における標準的科目を配置する。
2. 少人数クラスにおいて、履修している学生の研究テーマや理解度を勘案しながら講義する。
3. 基礎と応用のバランス講義内容は、理論構築の基礎となる調査研究方法論（統計や社会調査技法）から、基礎的理論、現実の経営現象への応用まで広範囲にわたり、基礎と応用のバランスを考慮する。
4. 伝統的・標準的な文献講読タイプだけでなく、現実の事例に基づくケース・ディスカッション、データ分析の実習など多様な講義形式を科目特性や講義内容に応じて開設する。
5. 論文テーマの設定、その分析枠組みの選択、分析・考察および論文作成の各段階において、指導教員を中心とした3人の教員から構成される審査・指導グループが指導する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、経営学、マーケティング論、会計学あるいはこれらの周辺領域から選択された研究課題に対する知見の深まりとその分析能力の高度化を目指すよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導を通じて、理論を基礎とする現象分析や理論の現実への応用を可能とする高度な研究能力を涵養する。
2. 会計学、マーケティング論、経営学の分野の科目を開設する。
3. 国内あるいは海外の学会での発表、国内外の学術雑誌への論文投稿を推奨する。

経済学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	8		
└マイクロ経済学特講 I	2		
└マクロ経済学特講 I	2		
└計量経済学特講 I	2		
└論文演習 I（基礎）	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究論文コースへの変更届の提出	3月末まで	M1	研究論文コースへ変更を希望する学生のみ提出が必要。
研究計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	春学期末	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬 ～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
修士論文・論文要旨の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	秋学期末	M2	

※ 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布する「修士論文提出・審査の手順および注意事項」を参照のこと。

※ 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 指導・審査グループと協議の上、研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考察・分析したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ミクロ経済学特講 I	2		
ミクロ経済学特講 II			2
マクロ経済学特講 I	2		
マクロ経済学特講 II			2
計量経済学特講 I	2		
計量経済学特講 II			2
論文演習 I (基礎)	2		
論文演習 II (応用)			2
プレゼンテーションの技術 I			2
プレゼンテーションの技術 II			2
公共経済学特講 I			2
公共経済学特講 II			2
国際貿易論特講 I			2
国際貿易論特講 II			2
財政学特講 I			2
財政学特講 II			2
産業組織論特講 I			2
産業組織論特講 II			2
環境経済学特講 I			2
環境経済学特講 II			2
CORPORATE FINANCE			4
貨幣とマクロ経済特講 I			2
貨幣とマクロ経済特講 II			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
労働経済学特講 I			2
労働経済学特講 II			2
統計学特講 I			2
統計学特講 II			2
国際経済史特講			2
農業経済学特講			2
厚生経済学特講 I			2
厚生経済学特講 II			2
開発経済学特講 I			2
開発経済学特講 II			2
日本経済論特講 I			2
日本経済論特講 II			2
MONETARY ECONOMICS I			2
MONETARY ECONOMICS II			2
数理経済分析特講 I			2
数理経済分析特講 II			2
(他) 途上国の環境と開発			2

3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な必修科目 8 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 「研究指導 (必修)」を在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 3) 修士論文の履修登録については、論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。
- 4) 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明をおこなうので、必ず出席のこと。

(早期修了希望者)

上智大学大学院学則第 21 条に基づいて、経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について、以下のように定められている。

- 1) 早期修了とは、経済学研究科博士前期課程に 1 年在学した者のうち、所定の手続を経て、1 年次終了時をもって修了することである。
- 2) 早期修了の認定を受けるには、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 本人が早期修了を希望すること。
 - (イ) 早期修了時において、修了に必要な履修上の要件をすべて満たし、所定の授業科目の単位をすべて取得し、かつ、その成績評価が GPA3.8 以上であること。
 - (ウ) 修士論文の評価が A であること。
- 3) 早期修了を希望する者は、早期修了申請書 (書式自由) に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。なお、早期修了申請書の提出は、1 年次春学期の履修登録前までに行うこと。
- 4) 申請取り消しを希望する場合は、1 年次秋学期の履修中止期間中に、早期修了申請取消願書 (書式自由) に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MEEC1010	春	ミクロ経済学特講 I	ECN501-55j00	2	堀江 哲也		
MEEC1020	春	マクロ経済学特講 I	ECN503-55j00	2	竹田 陽介		
MEEC1030	春	計量経済学特講 I	ECN513-55j00	2	出島 敬久		
MEEC7130	春	公共経済学特講 I	ECN507-55j00	2	近藤 広紀		
MEEC7280	春	統計学特講 I	ECN515-55j00	2	竹内 明香		
MEEC7360	春	産業組織論特講 I	ECN519-55j00	2	青木 研		
MEEC7380	春	厚生経済学特講 I	ECN521-55j00	2	釜賀 浩平		
MEEC7480	春	開発経済学特講 I	ECN531-55j00	2	樋口 裕城		
MEEC7500	春	日本経済論特講 I	ECN529-55j00	2	南橋 尚明		
MEEC7561	春	MONETARY ECONOMICS I	ECN535-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
MEEC7563	春	数理経済分析特講 I	ECN540-55j00	2	來島 愛子		
P.179参照	春	論文演習 I (基礎)	ECN538-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M1 対象
P.179参照	春	プレゼンテーションの技術 I	ECN601-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M2 対象
MEEC7010	秋	ミクロ経済学特講 II	ECN502-55j00	2	釜賀 浩平		
MEEC7020	秋	マクロ経済学特講 II	ECN504-55j00	2	中里 透		
MEEC7140	秋	公共経済学特講 II	ECN508-55j00	2	近藤 広紀		
MEEC7191	秋	CORPORATE FINANCE	ECN537-55e00	4	KAWANISHI Satoshi	○	2020「金融論特講」と同一科目
MEEC7220	秋	貨幣とマクロ経済特講 I	ECN505-55j00	2	竹田 陽介		
MEEC7240	秋	労働経済学特講 I	ECN517-55j00	2	出島 敬久		
MEEC7290	秋	統計学特講 II	ECN516-55j00	2	竹内 明香		
MEEC7370	秋	産業組織論特講 II	ECN520-55j00	2	青木 研		
MEEC7400	秋	環境経済学特講 I	ECN523-55j00	2	堀江 哲也		
MEEC7490	秋	開発経済学特講 II	ECN532-55j00	2	樋口 裕城		
MEEC7510	秋	日本経済論特講 II	ECN538-55e00	2	南橋 尚明		
MEEC7562	秋	MONETARY ECONOMICS II	ECN536-55e00	2	SCHLEGL Matthias	○	
MEEC7564	秋	数理経済分析特講 II	ECN541-55j00	2	來島 愛子		
P.179参照	秋	論文演習 II (応用)	ECN539-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M1 対象
P.179参照	秋	プレゼンテーションの技術 II	ECN602-55j00	2	経済学専攻各指導教員		M2 対象
MEEC9010	秋	修士論文	ECN699-55j00	0	経済学専攻各指導教員		
MGGE7200	秋	途上国の環境と開発	ENV609-94j00	2	(他)ブテンカラム ジョンジョセフ		(他)地球環境学研究科, 隔年開講
MEEC7030	休講	計量経済学特講 II	ECN514-55j00	2			
MEEC7150	休講	国際貿易論特講 I	ECN511-55j00	2			
MEEC7160	休講	国際貿易論特講 II	ECN512-55j00	2			
MEEC7170	休講	財政学特講 I	ECN509-55j00	2			
MEEC7180	休講	財政学特講 II	ECN510-55j00	2			
MEEC7230	休講	貨幣とマクロ経済特講 II	ECN506-55j00	2			
MEEC7250	休講	労働経済学特講 II	ECN518-55j00	2			
MEEC7390	休講	厚生経済学特講 II	ECN522-55j00	2			
MEEC7410	休講	環境経済学特講 II	ECN524-55j00	2			
MEEC7460	休講	国際経済史特講	ECN527-55j00	2			
MEEC7470	休講	農業経済学特講	ECN528-55j00	2			
MEEC7540	未定	HEALTH ECONOMICS I	ECN533-55e00	2		○	2018「医療経済学特講 I」と同一科目
MEEC7550	未定	HEALTH ECONOMICS II	ECN534-55e00	2		○	2018「医療経済学特講 II」と同一科目

論文演習（Ⅰ・Ⅱ），プレゼンテーションの技術（Ⅰ・Ⅱ） 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 担当教員	論文演習Ⅰ（基礎） M1/春	論文演習Ⅱ（応用） M1/秋	プレゼンテーションの技術Ⅰ M2/春	プレゼンテーションの技術Ⅱ M2/秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
竹田 陽介	MEEC1101	MEEC7701	MEEC7801	MEEC7901
出島 敬久	MEEC1102	MEEC7702	MEEC7802	MEEC7902
青木 研	MEEC1104	MEEC7704	MEEC7804	MEEC7904
中里 透	MEEC1105 (休講)	MEEC7705	MEEC7805 (休講)	MEEC7905
川西 諭	MEEC1106	MEEC7706	MEEC7806	MEEC7906
蓬田 守弘	MEEC1107	MEEC7707	MEEC7807	MEEC7907
近藤 広紀	MEEC1108	MEEC7708	MEEC7808	MEEC7908
来島 愛子	MEEC1109	MEEC7709	MEEC7809	MEEC7909
竹内 明香	MEEC1110	MEEC7710	MEEC7810	MEEC7910
釜賀 浩平	MEEC1112	MEEC7712	MEEC7812	MEEC7912
倉田 正充	MEEC1114	MEEC7714	MEEC7814	MEEC7914
堀江 哲也	MEEC1116	MEEC7716	MEEC7816	MEEC7916
南橋 尚明	MEEC1117	MEEC7717	MEEC7817	MEEC7917
樋口 裕城	MEEC1115	MEEC7715	MEEC7819	MEEC7919

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN599-55j00	出島 敬久	
	竹田 陽介	
	青木 研	
	中里 透	休講（春）
	川西 諭	
	蓬田 守弘	
	近藤 広紀	
	来島 愛子	
	竹内 明香	
	釜賀 浩平	
	堀江 哲也	
	南橋 尚明	
	倉田 正充	
樋口 裕城		

経済学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
・必修科目			
・選択必修科目	6		理論経済学・応用経済学・経済統計の3コースの中から1コースを選択する。
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【17年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【研究指導スケジュール】

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので, 必ず出席のこと。
なお, 「3. 履修上の注意」を参照すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野において、独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
【理論経済学コース】			
理論経済学特講Ⅰ		2	
理論経済学特講Ⅱ		2	
理論経済学特講Ⅲ		2	
【応用経済学コース】			
応用経済学特講Ⅰ		2	
応用経済学特講Ⅱ		2	
応用経済学特講Ⅲ		2	
【経済統計コース】			
経済統計特講Ⅰ		2	
経済統計特講Ⅱ		2	
経済統計特講Ⅲ		2	

3. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け、博士論文を作成・提出することが必要である。

2018年度以降に入学した者には、コースワークが設定されている。

選択必修科目のうち、各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について

【17年次生以降】在学中每学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので、必ず出席のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DEEC300	春	理論経済学特講 I	ECN801-55j00	2	指導教員		D1対象
DEEC303	春	応用経済学特講 I	ECN804-55j00	2	指導教員		D1対象
DEEC306	春	経済統計特講 I	ECN807-55j00	2	指導教員		D1対象
DEEC301	休講	理論経済学特講 II	ECN802-55j00	2	指導教員		D2対象
DEEC304	春	応用経済学特講 II	ECN805-55j00	2	指導教員		D2対象
DEEC307	休講	経済統計特講 II	ECN808-55j00	2	指導教員		D2対象
DEEC302	休講	理論経済学特講 III	ECN803-55j00	2	指導教員		D3対象
DEEC305	休講	応用経済学特講 III	ECN806-55j00	2	指導教員		D3対象
DEEC308	休講	経済統計特講 III	ECN809-55j00	2	指導教員		D3対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN899-55j00	出島 敬久	
	青木 研	
	川西 諭	
	近藤 広紀	
	來島 愛子	
	中里 透	
	竹田 陽介	
	蓬田 守弘	
	竹内 明香	
	釜賀 浩平	
	堀江 哲也	
	南橋 尚明	
	倉田 正充	
	樋口 裕城	

経営学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目			
└論文演習 I	2		
▶選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目			
└論文演習 I	2		
▶選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

【研究指導スケジュール】

事項	期日	対象	備考
研究論文コースへの変更届の提出	3月末まで	M1	研究論文コースへ変更を希望する学生のみ提出が必要。
研究計画書の提出	5月上旬	M2	修士論文を提出する年度に提出すること。
修士論文中間発表会	春学期末	M2	修士論文を提出する年度に実施する。
修士論文の履修登録	9月下旬 ～10月上旬	M2	履修登録期間中に各自で履修登録を行うこと。
修士論文・論文要旨の提出	1月中旬	M2	
論文審査・口述試験	秋学期末	M2	

※ 書式や提出期限に係る詳細は、4月実施の専攻ガイダンスで配布する「修士論文提出・審査の手順および注意事項」を参照のこと。

※ 9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず指導教員に連絡をとり、スケジュール等詳細について確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 指導・審査グループと協議の上、研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野に関する深い理解に基づき、社会で生じる事象や問題を考慮・分析したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数			科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択		必修	選必	選択
論文演習Ⅰ	2			経営組織論研究Ⅰ			2
論文演習Ⅱ			2	経営組織論研究Ⅱ			2
論文演習Ⅲ			2	マーケティング戦略論特講Ⅰ			2
論文演習Ⅳ			2	マーケティング戦略論特講Ⅱ			2
財務会計論特講Ⅰ			2	マーケティング戦略論研究Ⅰ			2
財務会計論特講Ⅱ			2	マーケティング戦略論研究Ⅱ			2
財務会計論研究Ⅰ			2	国際経営論特講Ⅰ			2
財務会計論研究Ⅱ			2	国際経営論特講Ⅱ			2
公会計特講Ⅰ			2	国際経営論研究Ⅰ			2
公会計特講Ⅱ			2	国際経営論研究Ⅱ			2
公会計研究Ⅰ			2	SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
公会計研究Ⅱ			2	SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
管理会計論特講Ⅰ			2	RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ			2
管理会計論特講Ⅱ			2	RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅡ			2
管理会計論研究Ⅰ			2	消費者行動論特講Ⅰ			2
管理会計論研究Ⅱ			2	消費者行動論特講Ⅱ			2
経営財務論特講Ⅰ			2	消費者行動論研究Ⅰ			2
経営財務論特講Ⅱ			2	消費者行動論研究Ⅱ			2
経営財務論研究Ⅰ			2	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ			2
経営財務論研究Ⅱ			2	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ			2
経営管理論特講Ⅰ			2	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ			2
経営管理論特講Ⅱ			2	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ			2
経営管理論研究Ⅰ			2	製品開発論特講Ⅰ			2
経営管理論研究Ⅱ			2	製品開発論特講Ⅱ			2
経営戦略論特講Ⅰ			2	製品開発論研究Ⅰ			2
経営戦略論特講Ⅱ			2	製品開発論研究Ⅱ			2
経営戦略論研究Ⅰ			2				
経営戦略論研究Ⅱ			2				
人事管理論特講Ⅰ			2				
人事管理論特講Ⅱ			2				
人事管理論研究Ⅰ			2				
人事管理論研究Ⅱ			2				
経営組織論特講Ⅰ			2				
経営組織論特講Ⅱ			2				

3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 各教員が特講と研究を開講しているが、研究は特講を修得した者が履修できることとする。
- 3) 研究指導を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「修士論文作成について」説明を行うので、必ず出席のこと。

(早期修了希望者)

上智大学大学院学則第 21 条に基づいて、経済学研究科経済学専攻および経営学専攻の博士前期課程における早期修了について、以下のように定められている。

- 1) 早期修了とは、経済学研究科博士前期課程に 1 年在学した者のうち、所定の手続を経て、1 年次終了時をもって修了することである。
- 2) 早期修了の認定を受けるには、次に掲げる要件を満たしていること。
 - (ア) 本人が早期修了を希望すること。
 - (イ) 早期修了時において、修了に必要な履修上の要件をすべて満たし、所定の授業科目の単位をすべて取得し、かつ、その成績評価が GPA3.8 以上であること。
 - (ウ) 修士論文の評価が A であること。
- 3) 早期修了を希望する者は、早期修了申請書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。なお、早期修了申請書の提出は、1 年次春学期の履修登録前までに行うこと。
- 4) 申請取り消しを希望する場合は、1 年次秋学期の履修中止期間中に、早期修了申請取消願書（書式自由）に指導教員の承認印を受けて、これを所属専攻主任・経済学研究科委員長宛に提出すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
P.188参照	春	論文演習Ⅰ	MMI501-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1対象
P.188参照	秋	論文演習Ⅱ	MMI502-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M1対象
P.188参照	春	論文演習Ⅲ	MMI603-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2対象
P.188参照	秋	論文演習Ⅳ	MMI604-56j00	2	経営学専攻各指導教員		M2対象
MEMG7010	春	財務会計論特講Ⅰ	ACC501-56j00	2	西澤 茂		「財務会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7030	春	財務会計論研究Ⅰ	ACC601-56j00	2	西澤 茂		M2対象, 「財務会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7800	春	公会計特講Ⅰ	ACC503-56j00	2	若林 利明		「公会計研究Ⅰ」と合併
MEMG7820	春	公会計研究Ⅰ	ACC606-56j00	2	若林 利明		M2対象, 「公会計特講Ⅰ」と合併
MEMG7170	春	経営財務論特講Ⅰ	MAN501-56j00	2	石井 昌宏		「経営財務論研究Ⅰ」と合併
MEMG7190	春	経営財務論研究Ⅰ	MAN601-56j00	2	石井 昌宏		M2対象, 「経営財務論特講Ⅰ」と合併
MEMG7210	休講	経営管理論特講Ⅰ	MAN503-56j00	2			「経営管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7230	休講	経営管理論研究Ⅰ	MAN603-56j00	2			M2対象, 「経営管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7290	春	人事管理論特講Ⅰ	MAN507-56j00	2	細萱 伸子		「人事管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7310	春	人事管理論研究Ⅰ	MAN607-56j00	2	細萱 伸子		M2対象, 「人事管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7330	春	経営組織論特講Ⅰ	MAN509-56j00	2	関 廷媛		「経営組織論研究Ⅰ」と合併
MEMG7350	春	経営組織論研究Ⅰ	MAN609-56j00	2	関 廷媛		M2対象, 「経営組織論特講Ⅰ」と合併
MEMG7410	春	国際経営論特講Ⅰ	MAN511-56j00	2	竹之内 秀行		「国際経営論研究Ⅰ」と合併
MEMG7430	春	国際経営論研究Ⅰ	MAN611-56j00	2	竹之内 秀行		M2対象, 「国際経営論特講Ⅰ」と合併
MEMG7786	春	SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅠ	MRK507-56e00	2	JOHNS Adam	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ」と合併
MEMG7784	春	RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅠ	MRK607-56e00	2	JOHNS Adam	○	M2対象, 「SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅠ」と合併
MEMG7530	春	消費者行動論特講Ⅰ	MRK501-56j00	2	杉本 徹雄		「消費者行動論研究Ⅰ」と合併
MEMG7550	春	消費者行動論研究Ⅰ	MRK601-56j00	2	杉本 徹雄		M2対象, 「消費者行動論特講Ⅰ」と合併
MEMG7610	春	マーケティング戦略論特講Ⅰ	MRK503-56j00	2	杉谷 陽子		「マーケティング戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7630	春	マーケティング戦略論研究Ⅰ	MRK603-56j00	2	杉谷 陽子		M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7691	春	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ	MRK505-56j00	2	新井 範子		「マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ」と合併
MEMG7711	春	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅰ	MRK605-56j00	2	新井 範子		M2対象, 「マーケティング・コミュニケーション特講Ⅰ」と合併
MEMG7740	休講	製品開発論特講Ⅰ	MAN513-56j00	2			「製品開発論研究Ⅰ」と合併
MEMG7760	休講	製品開発論研究Ⅰ	MAN613-56j00	2			M2対象, 「製品開発論特講Ⅰ」と合併
MEMG7250	春	経営戦略論特講Ⅰ	MAN505-56j00	2	網倉 久永		「経営戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7270	春	経営戦略論研究Ⅰ	MAN605-56j00	2	網倉 久永		M2対象, 「経営戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7090	春	管理会計論特講Ⅰ	ACC506-56j00	2	王 志		「管理会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7110	春	管理会計論研究Ⅰ	ACC604-56j00	2	王 志		M2対象, 「管理会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7020	秋	財務会計論特講Ⅱ	ACC502-56j00	2	西澤 茂		「財務会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7040	秋	財務会計論研究Ⅱ	ACC602-56j00	2	西澤 茂		M2対象, 「財務会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7810	秋	公会計特講Ⅱ	ACC504-56j00	2	若林 利明		「公会計研究Ⅱ」と合併
MEMG7830	秋	公会計研究Ⅱ	ACC607-56j00	2	若林 利明		M2対象, 「公会計特講Ⅱ」と合併
MEMG7180	秋	経営財務論特講Ⅱ	MAN502-56j00	2	石井 昌宏		「経営財務論研究Ⅱ」と合併
MEMG7200	秋	経営財務論研究Ⅱ	MAN602-56j00	2	石井 昌宏		M2対象, 「経営財務論特講Ⅱ」と合併
MEMG7220	休講	経営管理論特講Ⅱ	MAN504-56j00	2			「経営管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7240	休講	経営管理論研究Ⅱ	MAN604-56j00	2			M2対象, 「経営管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7300	秋	人事管理論特講Ⅱ	MAN508-56j00	2	細萱 伸子		「人事管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7320	秋	人事管理論研究Ⅱ	MAN608-56j00	2	細萱 伸子		M2対象, 「人事管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7340	秋	経営組織論特講Ⅱ	MAN510-56j00	2	関 廷媛		「経営組織論研究Ⅱ」と合併
MEMG7360	秋	経営組織論研究Ⅱ	MAN610-56j00	2	関 廷媛		M2対象, 「経営組織論特講Ⅱ」と合併
MEMG7787	秋	SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ	MRK508-56e00	2	JOHNS Adam	○	「RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅡ」と合併
MEMG7785	秋	RESEARCH IN GLOBAL MARKETINGⅡ	MRK608-56e00	2	JOHNS Adam	○	M2対象, 「SEMINAR IN GLOBAL MARKETINGⅡ」と合併
MEMG7540	秋	消費者行動論特講Ⅱ	MRK502-56j00	2	杉本 徹雄		「消費者行動論研究Ⅱ」と合併
MEMG7560	秋	消費者行動論研究Ⅱ	MRK602-56j00	2	杉本 徹雄		M2対象, 「消費者行動論特講Ⅱ」と合併
MEMG7620	秋	マーケティング戦略論特講Ⅱ	MRK504-56j00	2	杉谷 陽子		「マーケティング戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7640	秋	マーケティング戦略論研究Ⅱ	MRK604-56j00	2	杉谷 陽子		M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MEMG7701	秋	マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ	MRK506-56j00	2	新井 範子		「マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ」と合併
MEMG7721	秋	マーケティング・コミュニケーション研究Ⅱ	MRK606-56j00	2	新井 範子		M2対象, 「マーケティング・コミュニケーション特講Ⅱ」と合併
MEMG7750	休講	製品開発論特講Ⅱ	MAN514-56j00	2			「製品開発論研究Ⅱ」と合併
MEMG7770	休講	製品開発論研究Ⅱ	MAN614-56j00	2			M2対象, 「製品開発論特講Ⅱ」と合併
MEMG7100	秋	管理会計論特講Ⅱ	ACC507-56j00	2	王 志		「管理会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7120	秋	管理会計論研究Ⅱ	ACC605-56j00	2	王 志		M2対象, 「管理会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7420	休講	国際経営論特講Ⅱ	MAN512-56j00	2			「国際経営論研究Ⅱ」と合併
MEMG7440	休講	国際経営論研究Ⅱ	MAN612-56j00	2			M2対象, 「国際経営論特講Ⅱ」と合併
MEMG7260	秋	経営戦略論特講Ⅱ	MAN506-56j00	2	網倉 久永		「経営戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7280	秋	経営戦略論研究Ⅱ	MAN606-56j00	2	網倉 久永		M2対象, 「経営戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG9010	秋	修士論文	MMI699-56m00	0	経営学専攻各指導教員		

論文演習（Ⅰ～Ⅳ）登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 担当教員	論文演習Ⅰ M1/春	論文演習Ⅱ M1/秋	論文演習Ⅲ M2/春	論文演習Ⅳ M2/秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
網倉 久永	MEMG1100	MEMG7850	MEMG7890	MEMG7930
新井 範子	MEMG1101	MEMG7851	MEMG7891	MEMG7931
細萱 伸子	MEMG1103	MEMG7853	MEMG7893	MEMG7933
石井 昌宏	MEMG1104	MEMG7854	MEMG7894	MEMG7934
関 廷媛	MEMG1105	MEMG7855	MEMG7895	MEMG7935
西澤 茂	MEMG1108	MEMG7858	MEMG7898	MEMG7938
杉本 徹雄	MEMG1109	MEMG7859	MEMG7899	MEMG7939
杉谷 陽子	MEMG1110	MEMG7860	MEMG7900	MEMG7940
竹之内 秀行	MEMG1111	MEMG7861 (休講)	MEMG7901	MEMG7941 (休講)
小阪 玄次郎	MEMG1113 (休講)	MEMG7863 (休講)	MEMG7903 (休講)	MEMG7943 (休講)
王 志	MEMG1114	MEMG7864	MEMG7904	MEMG7944
JOHNS Adam	MEMG1115	MEMG7865	MEMG7905	MEMG7945
若林 利明	MEMG1116	MEMG7866	MEMG7906	MEMG7946
河合 憲史	MEMG1117	MEMG7867	MEMG7907	MEMG7947
外川 拓	MEMG1118	MEMG7868	MEMG7908	MEMG7948

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI599-56m00	網倉 久永	
	新井 範子	
	細萱 伸子	
	石井 昌宏	
	関 廷媛	
	西澤 茂	
	杉本 徹雄	
	杉谷 陽子	
	竹之内 秀行	
	小阪 玄次郎	休講
	王 志	
	JOHNS Adam	
	若林 利明	
	河合 憲史	
	外川 拓	

経営学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	6		
・必修科目			
・選択必修科目	6		会計学・マーケティング・経営学の3コースの中から1コースを選択する。
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること。 【11年次生以降】単位なし, 修業年限にかかわらず, 在学中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【研究指導スケジュール】

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明をおこなうので, 必ず出席のこと。
なお, 「3. 履修上の注意」を参照すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され、研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野において、独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
会計学特講Ⅰ		2	
会計学特講Ⅱ		2	
会計学特講Ⅲ		2	
マーケティング論特講Ⅰ		2	
マーケティング論特講Ⅱ		2	
マーケティング論特講Ⅲ		2	
経営学特講Ⅰ		2	
経営学特講Ⅱ		2	
経営学特講Ⅲ		2	

3. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け、博士論文を作成・提出することが必要である。

2018年度以降に入学した者には、コースワークが設定されている。

選択必修科目のうち、各コースの特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に履修すること。

研究指導について

【10年次生以前】修業年限3年を満たすまでは毎学期（春・秋）履修登録すること。なお2010年度以前開講の研究指導については、毎年（通年）履修登録すること。

【11～16年次生】在学期間中は研究指導が毎学期登録される。

【17年次生以降】在学中毎学期受けること。なお、必要な合格科目数も定められているので、「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

年度初めの専攻ガイダンスで「研究指導」「博士論文作成について」説明を行うので、必ず出席のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DEMG2000	休講	会計学特講Ⅰ	ACC801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1対象
DEMG2010	春	会計学特講Ⅱ	ACC802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2対象
DEMG2020	休講	会計学特講Ⅲ	ACC803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3対象
DEMG2030	休講	マーケティング論特講Ⅰ	MRK801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1対象
DEMG2040	休講	マーケティング論特講Ⅱ	MRK802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2対象
DEMG2050	休講	マーケティング論特講Ⅲ	MRK803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3対象
DEMG2060	休講	経営学特講Ⅰ	MAN801-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D1対象
DEMG2070	休講	経営学特講Ⅱ	MAN802-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D2対象
DEMG2080	休講	経営学特講Ⅲ	MAN803-56j00	2	経営学専攻各指導教員		D3対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI899-56j00	網倉 久永	
	新井 範子	
	細萱 伸子	
	石井 昌宏	
	JOHNS Adam	
	関 廷媛	
	西澤 茂	
	杉本 徹雄	
	杉谷 陽子	
	竹之内 秀行	
	小阪 玄次郎	休講
	王 志	
	若林 利明	